

東京経済大学報

2023 年度
第 56 卷 11 月臨時号



第 124 回葵祭レポート
東京経済大学の国際交流
学生記者が行く！先生インタビュー
東経大で出会った「生涯の師」への手紙
イマドキの T K U 生

東京経済大学



開祭式・オープニング企画

本祭 1 日目の開祭式は、天候に恵まれ清々しい空気の中行われ、葵祭実行委員長は「学生たちの熱気や努力を感じながら楽しんでほしい。そして勇気や活力を得てもらえたなら嬉しい」と挨拶しました。

恒例のバルーンアーチも用意され、葵祭実行委員長の開催宣言と共に快晴の空を鮮やかに彩りました。

オープニング企画では葵祭テーマソングを手掛けたバンドの生演奏やダンス、和太鼓などが披露され、大いに盛り上がりました。

第124回
葵祭
レポート

11.4
SAT

11.5
SUN



東京経済大学の秋の風物詩「葵祭」が 11 月 3 日（金／前夜祭）・4 日（土）・5 日（日）に開催されました。

葵祭とは、前身の大倉商業学校の記念祭を引き継ぐ歴史ある大学祭です。開校時、本学が赤坂葵町（現在の東京・虎ノ門）に位置していたことが名前の由来となっています。

124 回目の開催となる今年のキャッチフレーズは「葵、返り咲き」です。コロナ禍が落ち着き、対面開催が復活した昨年の葵祭よりパワーアップした大学祭を目指そう、本来の葵祭の姿を取り戻し、さらにこれまでの葵祭を超えるような大学祭にしよう、という思いが込められています。

そんな熱気と活気にあふれた葵祭 2 日間の様子を学生記者がリポートしてきました！

美瑛町フェア企画



恒例の北海道美瑛町の農産物販売が行われました。

じゃがいもや玉ねぎ、お米などが販売され、朝早くから購入を希望する人の列ができるほど大人気でした。

無料卓球場



100周年記念館地下を一部解放し、無料卓球場へ。連日にぎわいを見せました。

ピンポン玉を使用した、電化製品などの豪華景品獲得を目指すゲームもあり、老若男女問わず多くの来場者が参加しました。

来場者数

前夜祭 [3日(金)] : 498人 ※学内・関係者のみの参加
本祭 [4日(土)・5日(日)] : 6,050人
(葵祭実行委員会調べ)

演武会



100周年記念館地下の武道場では、合気道部と少林寺拳法部が合同で演武会を開催しました。日頃の活動の成果を披露すると共に、普段の稽古の様子を再現し紹介しました。力強い動きや掛け声に魅了されただけなく、二つの武道について、より知ることができる演武会となりました。





クイズイベント 東経大王

今年度の新企画、来場者参加型の4択クイズイベント。文化やお笑い、将棋、サッカーなど多様なジャンルから出題され、豪華景品を目指して参加者は奮闘しました。優勝者は「全問正解はできませんでしたが最後まで残り、景品をもらえて嬉しい」とコメントしました。

閉会式

夜のステージはダンス、bingo大会と盛り上がりが冷めやらぬ中、閉会式を迎えました。実行委員が「地域の皆様をはじめ、ご来場いただいた皆様、関係者の方々のご協力のおかげで、素晴らしい大学祭になりました」と閉会の言葉を述べた後、ライトアップに加え炎が舞う演出が施され、多くの来場者の沸きたつ歓声と共に幕を下ろしました。

優勝した西川春太郎さん（キャリアデザインプログラム1年）は「かなり緊張し、まだ優勝した実感はないですが、素敵なお会いもあり感謝しています。これからは池ソングを作り、インスタなどのSNSで新次郎池の認知を広めていきたいです。親善大使として頑張りますので応援よろしくお願ひします」と嬉しそうに語りました。





ゼミ指導教員・ゼミ生と
一緒に安心！

海外ゼミ研修



春季・夏季休暇期間を利用したゼミ主催の海外研修。ゼミ指導教員のもと、研究テーマに沿って現地の企業訪問や視察を行います(期間は1～2週間程度)。2023年度は地域により大学から学生一人あたり7万円もしくは10万円の補助金が支給されました。



原口 恭彦ゼミ
渡航先：タイ・バンコク
期間：2023/8/7～2023/8/14

経営学部3年
飯田 翼さん

私たちはバンコクを中心に日系および現地資本の製造業や建設業、本学の協定校である泰日工業大学、在タイ日本大使館等を歴訪しました。現地を訪れて五感で体感する情報は、事前学習と異なりかなり刺激的なものでした。

気軽に立ちより、何でも相談
できる、学生と教職員の学びの
交流スペース

学習センター



学習センターには、教員・職員・大学院生・専門相談員など多彩な相談相手がいます。学習センター職員(インテーカー)に声をかければ学内の最適な相談相手を紹介してくれます。なかでも英語に関する事(学習方法、試験・検定対策、英会話練習、発音、留学等)は、「英語学習アドバイザー」が相談に応じてくれます。



経営学部4年
兼山 瑛里加さん

主に正しく文章が読めているか確認する場として利用しています。私は英語力向上のため、BBCニュースをノートにシャドーイングし、和訳するという勉強方法を実践しています。英語学習アドバイザーにはその和訳が正しいか確認していただいています。相談することで自分の弱点を知ることができ、効率的な学習に役立てています。その証に、相談を行って半年でTOEIC®のReadingスコアを80伸ばすことが出来ました。

異文化に触れる第一歩！
キャンパス内で国際交流

グローバルラウンジ コトパティオ



コトパティオは英語をはじめとした外国語や異文化に触れる参加型学習スペースです。ネイティブ講師とのフリートークを中心に行い、プレゼンテーションの練習や外国語を使ったアクティビティ、留学生との交流など、様々なイベントを開催しています。アウトプットの練習にピッタリです。



コミュニケーション学部2年
春島 翔也さん

コトパティオは日本人の在学生をはじめ、留学生なども利用しています。私はコトパティオスタッフとして、英語を学びたい学生のみなさんと、レベル別の英会話を通じて学ぶ機会を作っています。コトパティオでは英会話の練習だけでなく、海外文化イベントなどさまざまな企画を開催しています。誰でも楽しめる環境なので、ぜひ一度お越しください！

2023年度 海外ゼミ研修実績(予定含む)

夏季

- カレイラ松崎 順子ゼミ【マルタ】
- 関 昭典ゼミ【ネパール・カトマンズ/ポカラ等】
- 関口 和代ゼミ【カンボジア・プノンペン/シェムリアップ】
- 田島 博和ゼミ【マレーシア・クアランプール】
- 中村 忠司ゼミ【韓国・ソウル】
- 西下 彰俊ゼミ【韓国・ソウル】

- 原口 恭彦ゼミ【タイ・バンコク】
- 羅 敏鎮ゼミ【中国・上海/広州等】

春季

- 大槻 淳ゼミ【台湾・台北】
 - 小林 誠ゼミ【シンガポール】
 - 田中 景ゼミ【シンガポール】
 - 対馬 輝昭ゼミ【シンガポール】
 - 中川 知佳子ゼミ【シンガポール】
- ※教員名50音順

コロナ禍で中止・延期を余儀なくされた海外留学。その後2023年5月8日より5類感染症へと移行され、東京経大でも留学や海外ゼミ研修等、渡航にチャレンジする学生が増えています。卒業後、社会人になると何かか長期休暇を取るのも大変。自由な時間を持ちやすい学生のうちに、ぜひ留学に挑戦しませんか？いきなり海外へ行くのはちょっと…と心配な方には、学内で異文化交流、語学力アップを目指すのに活用できるスポットがあります。ぜひ学生のうちに語学力、異文化に柔軟に対応する力を身につけてください！



休学せずに半年または1年の留学が可能！

長期留学



選考に合格すれば、休学せずに半年または1年間の留学が可能。留学先で取得した単位は、一定の条件を満たせば最大30単位（半年16単位）まで本学卒業単位として認められる場合があります。



ベース大学
渡航先：アメリカ・ニューヨーク
期間：2022/9/4～2023/5/10

経済学部
2023年9月卒業
佐藤 晃太郎さん

ベース大学にはチリ、イタリア、韓国、中国など世界中の人が在籍しており、さまざまな国の人と触れ合うことができました。授業ではアメリカ文化や口語表現、プレゼンテーションやディスカッションなどを通して英語を学びました。ネイティブと仲良くなるため、構内に「日本語を教えるから英語を教えて」というチラシを貼り、学部生と語学交換も行いました。



インターンシップを含む5ヵ月間の海外研修！

グローバルキャリアプログラム



グローバルキャリアプログラムは、実践的な語学力を身につけ、グローバルに活躍できる能力を養成することを目的とした、アドバンストプログラムです。オーストラリア研修コースと中国研修コースがあり、オーストラリアでは2年次8月より約5ヵ月間の海外研修を実施します。※国際コミュニケーション学科は、固有の海外研修があるため対象外



シドニー大学
渡航先：オーストラリア・シドニー
期間：2023/8/6～2023/12/17

経営学部2年
星 耀子さん

留学先は、とにかくフレンドリーな人が多いです。現地のバスケットボールクラブに参加し、積極的に話しかけたことで、多くの友人ができました。

多文化多国籍なので、互いに尊重しあえる環境があります。また、ホストファミリーとは自分から話題を作ったり、何でも聞いたりするようにして、良好な関係を築けるように心がけています。



海外初体験の人も安心！

短期語学研修



春季・夏季休暇期間を利用した語学研修（補助金あり）。実践的な語学力の養成や多文化共生力の強化を目指します。



ベトナムでの英語による多文化共修研修
渡航先：ベトナム・ホーチミン
期間：2023/8/1～2023/8/15

経済学部2年
坂本 弥宥さん

私は本研修にリーダーとして参加しました。ホーチミン市経済大学の学生と市内観光や、学内で言語交換や互いの文化紹介、性別格差についてのプレゼン等を行いました。研修の最後には国際学生サミットに参加し、SDGsをテーマに英語でプレゼン発表をしました。言語はもちろん、現地に行かなければ得ることのできない学びが沢山あることを実感しました。

国際交流課より



本学では、さまざまな海外研修・留学制度を用意して、在学中の海外体験を奨励しています。大学生のうちに海外体験をすると、新しい文化や価値観、考え方方に触れることができます。自己自身の成長にもつながります。本学の補助金制度を利用して、ぜひ海外体験に挑戦してください。

留学中の生活費をサポート! 国外留学生奨学金

120周年記念留学
支援折元奨学金

特別奨学金

語学検定受験料を助成

TOEFL®/IELTS
受験料助成制度

東京経大の学費を上限として留学先学費を後日返金する奨学金に加え、優秀な学生を対象に生活費の一部助成を行う「120周年記念留学支援折元奨学金」と「特別奨学金」があります。

英語圏への留学に必要となるTOEFL®またはIELTSを受験し、審査で適格と判断されれば2万円が助成されます。



先生インタビュー

学生記者が行く！



桜井 健夫 (現代法学部 教授)
Sakurai Takeo

1978年一橋大学法学部卒業。在学中に司法試験合格。最高裁判所司法研修所を経て1980年に弁護士登録(第二東京弁護士会)。日本弁護士連合会消費者問題対策委員会副委員長、東京都消費者特別委員などを歴任。2012年、東京経済大学現代法学部教授として着任。主な研究分野は金融商品取引法、保険法、支払決済法。

Q1 研究・興味のある分野について教えてください

専門分野は金融法と消費者法です。両者が重なる消費者のための金融法が特に専門性が高いです。この分野に興味を持った理由は、すべての人が消費者であり、社会制度は消費者のためにあるべきであつて社会制度の一つである金融制度も消費者のためにあるべきであるのに、そくなつていなることに気づいたからです。支払決済、預金・融資、投資取引、保険などのお金の動きに関する様々な制度について、消費者という物差しを当てみて、不十分なところをどのようにすべきかを考えています。

Q2 その分野に興味を持つたきっかけを教えてください

私は20代から弁護士として活動してきました。そのうち、私の所属する第二東京弁護士会に消費者問題対策委員会ができ、弁護士のための消費者被害事件処理の手引書を作成した。そのうえ、私が担当したのが証券取引事件でした。手引書発刊の少し後にバブル崩壊というものがあつて証券取引関係の相談が殺到したんです。それまでに証券取引事件に関して手引書に書いていた関係から、相談をたくさん受けました。また日

Q3 「実務家教員」として心がけていることについて教えてください

弁護士経験に裏打ちされた実務家教員の役割は何であるかを考えながら、教育・研究に当たっています。教育では、実際の紛争の予防・解決という視点を持ちながら様々な法律科目を担当しています。「投資サービスと法」という科目では金融や金融商品取引法等の内容について解説し、最後に投資被害にあつた人の被害救済のための法理論について時間を割き、実務ではどうなつていているのかについて伝えています。別の科目で民法、商法や消費者法を解説する場面でも、実務ではどのように使われているのか、どのようななかたちで問題となるのかを意識して入れるように心がけています。

Q4 法曹界に興味を持つていて学生へのアドバイスをお願します

私が一番よく知っている弁護士の世界について、やりようによつてはとても面白いということをお話します。役者はいろんな役に就いていろんな人生を疑似体験できることが面白いと言います。これと同じように弁護士も、事件ごとにその分野の特殊なことを体験することができるという意味で、幅広い体验ができる職業です。印象に残つてゐる事件として、産業廃棄物最終処分場の設置操業を差止める仮処分申立事件のお話をします。弁護士というのは法廷で喋つたり事

本弁護士連合会の中にも同じような委員会があり、その中で特に金融関係の消費者被害を予防・回復するための制度を研究する部会に入つて活動をしました。そのような弁護士会の活動と個々の相談に対応して訴訟もたくさんしたことから、制度的な研究と個々の被害救済的活動の分野について関心が高まり、同時に経験も知識も深まつたというところで大学の教員の立場になることになつて、その分野を専門としてさらに深めていくうと思いつに至つています。

Q5 大学時代にやつておいて良かったことは何ですか

1つ目は、スポーツです。今健康に仕事ができているのは、学生時代にスポーツをしていましたおかげもあるかもしれません。大学時代はスキー部に所属しましたし、テニスも登山もしました。今でもこれらは続いています。

2つ目は、読書です。特に社会学、社会

務所で文書を書いたりするだけじゃなくて、いろんな現場に行きます。この事件では、地下水の流れを証明する必要があるって、採石の業者しか入らないような鍾乳洞を探検し、地図を作つて写真とともに裁判所に提出しました。この事件ではこれが弁護士の仕事なんですね。仕事としていろいろなことができるのが弁護士の魅力で、そういうことをやってみたいと思ふなればしつかりと法律を勉強して資格を取りましよう、先が面白いよということをお伝えします。他の仕事同様、つまらないことや大変なこともいっぱいあるんだけどまずは魅力を、ということです。

Q6 最後に学生に向けてメッセージをお願いします

情報がすぐに手に入り、物もネット通販で

すくなく届く便利な時代になつて、生活しやすくなつた面はあります。が、内面的なところを見ると、より困難な時代になつているよう気がします。スマホやパソコンとの付き合い方によっては他人に支配される状態になつてしまふ恐れがあるということです。SNSやカスタマイズド・ニュース・検索結果など、みんなその人に合わせたものが出来るようになっています。その中だけで情報をやりとりしていると、人によって得ている情報が全然違うことになつて、より対立が深まりやすい、共感が得にくい方向に変化していく恐れがあります。そのような時代においては、自分の出す情報をどうコントロールし、自分に入れる情報をどう広げるかを意識する必要があると思います。フィルターバブルに閉じ込められずに、主体的な判断ができる人になつていきましょうということが、皆さんに贈る言葉ですね。



取材・撮影

学生記者 現代法学部 1年 藤井 康和
斎藤 赤羽

東経大で出会った「生涯の師」への手紙

～大学は学生と教師の出会いの場～

自由の学府・東京経済大学で生涯の師と出会った学生に思いを綴っていただきました。
先生からの返信も併せてご紹介します。



学生から先生へのメッセージ

いしぐろ さな
石黒 紗那

コミュニケーション学部 コミュニケーション学科 4年



お便り嬉しく拝受しました。石黒さんが2年生だった2021年、奇遇にもゼミの文献講読テーマが「手紙のメディア史」でしたね。オンライン授業を強いるコロナ禍への挑戦の一つとして、私たちはハガキを送り合いました。夕張からの素敵な風景印入り暑中見舞いをいただいたあの夏はまるで、はるか遠い過去のよう。「会えなかった」日々を忘れるくらい、精力的に活動される石黒さんの姿を見てきたからかもしれません。お便りに「コロナ禍を乗り越えて」とあるように、私たちは、師弟というより同志でした。制限に屈することなく、ピンチをチャンスに試行錯誤を楽しめたのは、石黒さんたちの「学びを止めたくない」という強い意思に支えられてのことです。宴会を代替したソーシャル・ディスタンス卓球大会も、今や昔。先の見えない道と一緒に走ってくれて、ありがとうございました。

石黒さんは「どこに出しても恥ずかしくない」聰明な学生さんゆえ、あちこちでご活躍いただきました。忘れられないのは、社会学者の加藤秀俊先生(2023年逝去)の書棚整理バイトを頼んだときのこと。老頃学にも臆せず、細やかな気配りのできる優しさや品性に感銘を受けました。そう、私の方が石黒さんに多くを学んできたのです。出逢いに深く感謝し、これから的人生に心からのエールを！元気でいてねと、いつも祈っています。

松永ゼミの活動を通して、自ら道を切り拓いていく力が養われたと感じています。特に、ゼミ活動の中心となる個人研究においては、着眼点や表現など、自分にしか書けない論文を書くということの意義を教わりました。2年生で初めて個人研究に取り組む際、自分の好きな演劇を活かしたいと松永先生に相談すると、新宿での人形劇の鑑賞を勧めていただき、そこからヒントを得て、子どものために作品を作り続ける演出家の人物研究を行いました。4年の夏休みには、東経大で行われた国際演劇シンポジウムに学生スタッフとして参加し、国内外から数多くの演劇人が集まる空間で非常に貴重な経験をさせていただきました。

また、演劇鑑賞や卒論合宿など、ゼミの仲間ともコロナ禍を乗り越えて思い出づくりができ、とても嬉しかったです。入学して以来、コロナ禍で思うような大学生活が送れずにもどかしい思いをすることもありましたが、松永先生の温かいご指導とご尽力のおかげで、困難な状況を悲觀することなく、できることをひとつづつ見つけて主体的に取り組み、実りある日々を過ごすことができました。心から感謝しております。

今後社会人としても、松永ゼミで磨いた力を活かして、探究心を持って前向きに精進してまいります。

先生から学生へのメッセージ

まつなが ともこ
松永 智子

コミュニケーション学部 准教授



TOPIC 1 第100回箱根駅伝予選会は総合29位

2023年10月14日(土)に立川で開催された第100回箱根駅伝予選会に出場した東京経済大学陸上競技部は、総合29位となりました。記念大会の今回は全国の大学が参加可能となり、史上最多の57校が出場しました。

TOPIC 3 より快適な学習環境へ。6号館のPCL教室をリニューアル

学生の皆さんにより快適な学習環境を提供するため、6号館5階のPCL教室のリニューアルと機器のリプレースを行いました。床を木目調に変更し明るい色調のPC用テーブルに入替え、教室南側の窓から見える景色と合わせ居心地の良い空間に生まれ変わりました。また、PCも最新のものにリプレースされ、A3サイズ対応のスキャナや持ち込み端末からの印刷も可能なプリンタも設置されています。



TOPIC 2 2023年度9月卒業式挙行～46名が新たな一步

本学は2023年9月15日(金)、大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)で2023年度9月卒業式を行いました。今年度は学部生40名と大学院生6名が本学を卒業し、それぞれの新しい道へ進みました。

岡本英男学長は式辞で、地球規模の環境問題や国際緊張などの現代的課題に触れ、柔軟な発想を持つ若者の活躍が期待されていると述べ、卒業生に賛別の言葉を贈りました。また、菅原寛貴理事長は、本学前身の大倉商業学校創立に関わった渋沢栄一の生家が藍玉の製造販売を営んでいたことから、荀子の教え「青は藍より出でて藍より青し」を引用し、大倉翁の「自助・努力・誠意」の理念とともに、卒業後も学問をやめずに学び続けてほしいと祝辞を述べました。



TOPIC 4 2023年度夏季は8ゼミが渡航 「夏季海外ゼミ研修成果報告会」を開催

2023年度夏季休暇期間に海外ゼミ研修へ参加した学生らによる「海外ゼミ研修成果報告会」が、2023年10月17日(火)～26日(木)に開催されました。

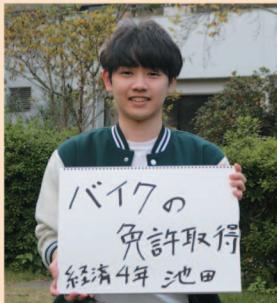
今夏は、カレイラ松崎順子ゼミ(マルタ)、関昭典ゼミ(ネパール)、関口和代ゼミ(カンボジア)、田島博和ゼミ(マレーシア)、中村忠司ゼミ(韓国)、西下彰俊ゼミ(韓国)、原口恭彦ゼミ(タイ)、羅歎鎮



ゼミ(中国)の8ゼミが海外研修を実施し、それぞれ現地調査や現地学生との交流などを行い、その成果を報告しました。

イマドキのTKU生

～今年頑張った事～



※2023年10月取材

